

No.	11-1-5	場所	飯島町日曾利	次世代への継承キーワード
名称	流失した民家			地域コミュニティ
災害現象	家屋の被災			河川 南カ沢
補足事項				支流

諏訪市  
岡谷市  
辰野町  
箕輪町  
南箕輪村  
伊那市  
高遠町  
長谷村  
宮田村  
駒ヶ根市  
飯島町  
中川村  
大鹿村  
松川町  
高森町  
豊丘村  
喬木村  
上村  
飯田市  
南信濃村  
清内路村  
阿智村  
浪合村  
平谷村  
下條村  
阿南町  
売木村  
天龍村

概要

日曾利では天竜川沿いの低い場所にあった田畑が冠水したほか、南カ沢など集落へ流れ込む沢沿いで大きな被害が発生した。架かっていた橋は流され、谷底の家屋をひと呑みにし、15戸が流失・全壊した。床上浸水も253戸と集落の大半が被害を受け、1名の命が奪われた。

●体験談：当時、駒ヶ根市赤穂小学校教員

雨がひどくなった27日は「大水が出て大変だ」と家からの連絡を受けて学校を飛び出し、走って飯島に向かったという。

児童を下校させ、警備のため学校に残っていたところだった。鉄道が止まっているので自力で帰ろうと、同市福岡まで来たところで知人が車で通りかかり、便乗させてもらった。

自宅にたどり着いてみると、家の隣を流れる南ヶ沢があふれんばかりに。「普段はそよそよと流れる小川なのに、橋も流されていた。信じられなかった」と、今でも思い出すという。

夜は川から離れた別棟の母屋で過ごしたが、妻のあい子さんは「竹がばりばり割れるし、大きな石がごっとなごっとな流れるし、恐ろしくて寝るどころじゃなかった」と振り返る。

親子5人でまんじりともしない夜を明かし、翌日からは雨が降り続く中、近所総出で残った家財道具を近くの親類の家に避難させた。たんすには今でも雨の後が筋になって残っている。

「耕地のみんなが力を合わせてくれたのでスムーズにいった。山村のいいところだね」。水道もなく川や湧き水が頼りだったことが特に住民を悩ませた。

大林さんの家は、そばに湧き水があったので助かったが、近所では持ち回りの風呂当番を決めて、各家を訪れ合う「お湯仲間」をしていたという。

2週間ほどして落ち着いてきたころ、学校の共済組合に見舞い金を申請した。調べに来た教頭に「ここに家があったとは思えない」と言われてしまった。それほど地形が変わっていた。

(「長野日報」より)

記録



流失した日曾利の民家

出典 「飯島町史 下巻」p.155/ 長野日報

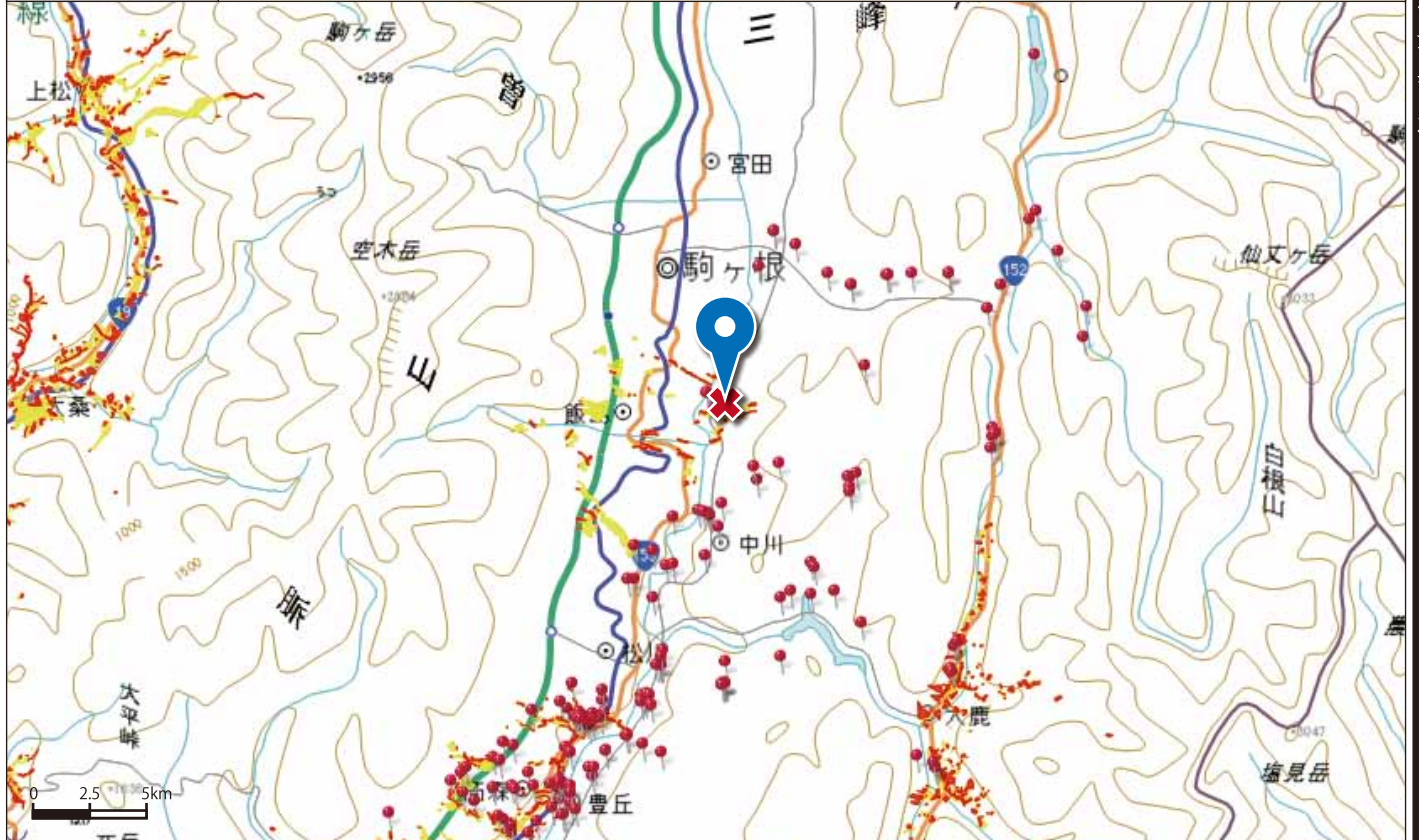
備考



No.	11-1-5	場所	飯島町日曾利	緯度	35.679760
-----	--------	----	--------	----	-----------

名称	流失した民家	経度	137.954190
----	--------	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。
----	---